

令和5年度 第12回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和6年3月21日（木）16時00分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・一昨日19日に、定例会の本会議において来年度当初予算をお認め頂いた。過去最大の規模であり、脱炭素関係は8億円位という事で大きな事業費である。4月からこの事業が本格的に動き出すと気を引き締めている。
- ・村民の皆さんにも第2回の村民説明会を行い、2月29日に終了した。色々なご意見を頂戴しており、具体的に示せなかった部分もあったが、この会議で今日もまた4月からの事業も徐々に具体的に内容を決めて頂き、6月にはまた第3回の村民説明会を開催したいと計画をしている。
- ・事務局も環境省と調整をしながら、実現に向けて具体的に決めていくという事で、進めているところである。(株)エコロミ、平林建設(株)等々皆さんに、調査設計をして頂いており、そちらの方も今年度ある程度の結果が示せる。それを基にまた、来年度調査設計も進めなければならない。
- ・(株)いくさかてらすにおいて PPA 事業関係が具体的に進むので、目に見えてこの事業が村民の皆さんに分かって頂いていく来年度になる。また明日は金融機関の信頼を頂き、今年度の(株)いくさかてらすに融資をして頂くという事で、(株)いくさかてらすに振り込まれる予定となっている。他の先行地域ではこの事業が中々先進的で、実績がないという事で融資を受けられていない地域もある。信頼に答えるために、この会議でしっかり協議を進めながら脱炭素先行地域づくり事業を成し遂げていきたいと思っている。

【報告事項】

○生坂村脱炭素先行地域づくり事業（調査・設計業務）の進捗状況について

- ・マイクログリッド調査・設計、小水力発電、やまなみ荘木質チップボイラー

導入、林業構築の進捗状況について

- ・来年度事業の実施内容について質問があり、環境省と協議して対応していくと説明。
- ・生坂橋の共架について質問があり、松本建設事務所と協議していくと説明。
- ・公用車の EV シェアリングについて、EV シェアリング事業概要、公用車基本運用、上生坂区マイクログリッド需要シミュレーション、太陽光発電と蓄電池充電・EV 充電イメージ、事業スキーム、事業に向けての検討事項について
- ・環境省の事業として、村から無償で EV をいくさかてらずに貸与して、いくさかてらずが使用料金を取ることは認められるのか質問があり、いくさかてらが村に使用料を払うのならば対象になるのではないかと説明。
- ・村民はほとんどの方が自家用車を持っているので、最初は無償で貸し出し行っていくのが良いのではないかという意見があった。
- ・福祉有償運送の事業に貸し出しは可能か質問があり、環境省に問い合わせていくと説明。
- ・村民に無償に貸し出すのであれば村が行うのが良いのではないか。村が管理するのであれば、管理体制も含め検討して欲しいという意見があった。
- ・EV 防災活用について、EV を活用した防災対応、給電端子活用、可搬型給電器、給電端子活用充放電器、ニチコン V2h 新型モデル、三相 3 線式動力負荷への給電、防災活用事例（東京都練馬区、神奈川県小田原市、兵庫県神戸市、日産ブルースイッチ）について説明。

○生坂村脱炭素先行地域づくり事業（事務局運営サポート業務）の進捗状況について

- ・脱炭素先行地域づくり事業に関する生坂村 HP 掲載用ページの作成及び更新について、脱炭素先行地域づくり事業の実施に関する問い合わせ（メール 1 件、電話 4 件、訪問 2 名）について、Web サイトの構成案について説明。

- ・記録に残して欲しいという意見があった。また、各会議録については早く対応して欲しいという意見があった。
- ・今後の事業の HP といくさかてらすの HP の関連について質問があり、現在調整して作成していると説明。

○省エネ機器導入補助の概要について

- ・令和6年度に実施する事業の概要について、事業のスケジュール（予定）、その他特記事項について説明。
- ・木質バイオマスストーブについての説明も26日の事業者説明会で行うのか質問があり、26日に一緒に説明を行っていくと回答。
- ・木質バイオマスストーブの補助対象個所についても早めに把握して、6月の説明会で説明できるように対応して欲しい。また、来シーズンの薪は早めに対応しないと間に合わないという意見があった。

○オンサイト PPA 事業及びオフサイト PPA 事業の進捗状況について

- ・ガレージを設置しその上に太陽光パネルを設置する見取り図を説明し、5KW 及び7KW のバベルを設置できること、設置事業費は120万円から130万円位になることを説明。
- ・ガレージを設置し、その上に太陽光パネルを設置した場合の補助金について環境省と調整するように意見があった。